

お知らせ

静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方について ～インターネットによる県民の皆様への情報提供～

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国土交通省と静岡県は、静岡県を6つの圏域に分割し、圏域毎に「総合流域防災協議会」を平成17年度出水期前に設立し、水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、双方の施行事業の進め方について調整等を進めてきました。

このたび、協議会の検討結果をとりまとめ、「静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方」として県民の皆様へインターネットにより情報提供を行います。

<公表資料概要>

1. 総合流域防災協議会
 - ・目的、圏域区分図
2. 水害・土砂災害発生状況
 - ・水害・土砂災害発生状況
3. 水害・土砂災害リスク評価
 - ・水害リスク評価、土砂災害対策
4. 当該年度事業実施箇所
 - ・H18年度 事業実施箇所位置図、事業実施箇所一覧表
5. 水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方
 - ・県全体及び広域圏の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

<情報提供開始日>

平成18年12月22日（予定）

<情報提供ホームページ>

○静岡県

土木部ホームページ (<http://www.pref.shizuoka.jp/doboku/doboku1.html>)

○中部地方整備局

沼津河川国道事務所 (<http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>)

富士砂防事務所 (<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>)

静岡河川事務所 (<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>)

浜松河川国道事務所 (<http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>)

総流防協議会の公表資料について

静岡県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

平成18年12月

狩野川圏域総合流域防災協議会
富士川圏域総合流域防災協議会
安倍川圏域総合流域防災協議会
大井川圏域総合流域防災協議会
菊川圏域総合流域防災協議会
天竜川圏域総合流域防災協議会

目 次

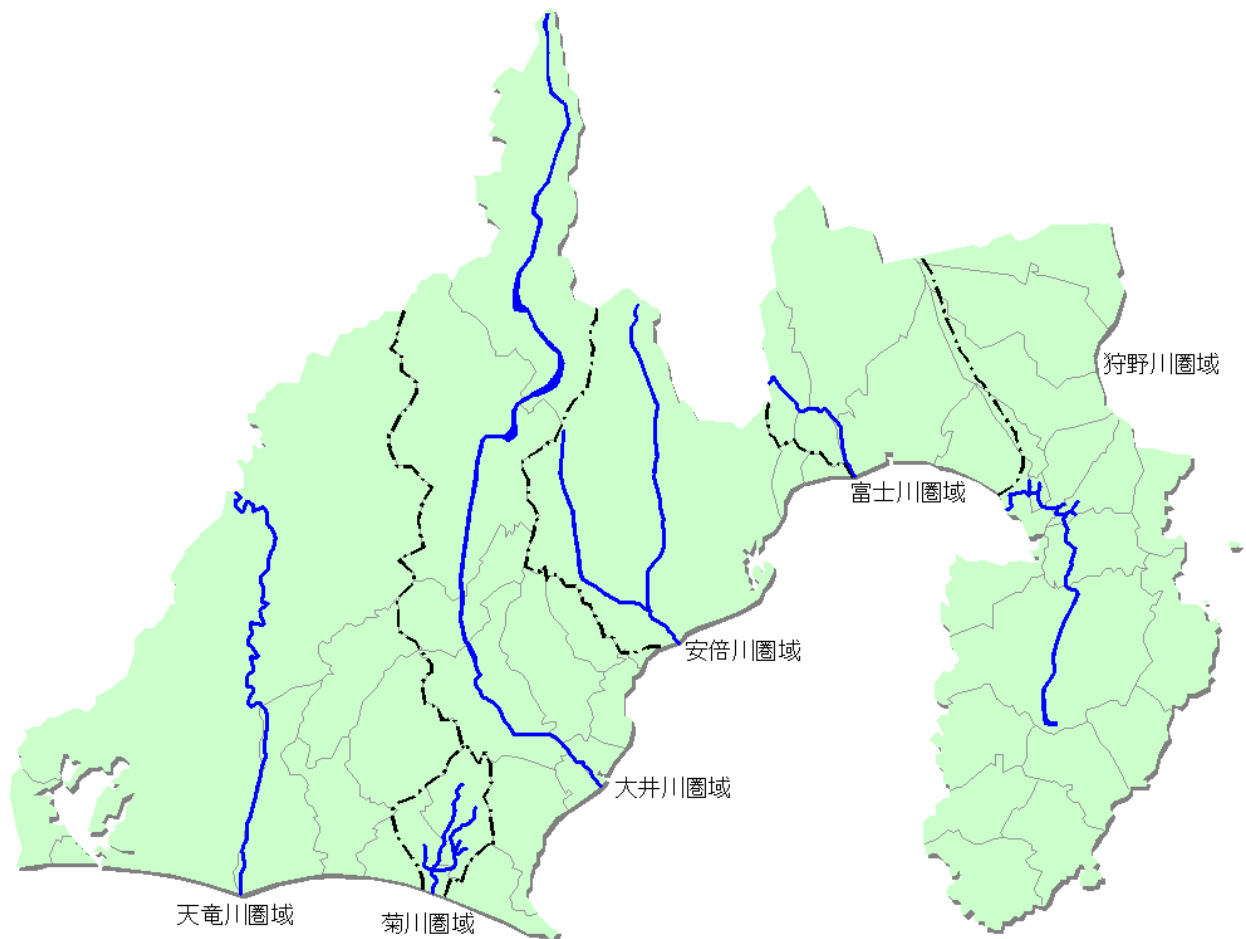
1. 総合流域防災協議会			
(1) 目的		・ ・ ・ ・ ・	3
(2) 圏域区分図		・ ・ ・ ・ ・	3
2. 水害・土砂災害発生状況			
※静岡県 水害・土砂災害発生状況図	…… 図面 1	・ ・ ・ ・ ・	4
3. 水害・土砂災害リスク評価			
※静岡県 水害リスク評価	…… 図面 2	・ ・ ・ ・ ・	5
静岡県の土砂災害対策	…… 図面 3	・ ・ ・ ・ ・	6
4. 当該年度事業実施箇所（図・一覧表）			
※静岡県 H18年度 事業実施箇所位置図	…… 図面 4	・ ・ ・ ・ ・	8
静岡県 H18年度事業実施箇所一覧表		・ ・ ・ ・ ・	9
5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	13
(1) 県全体の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	13
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	14
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	14
3) 水害・土砂災害における総合的な危機管理対策		・ ・ ・ ・ ・	14
(2) 狩野川圏域		・ ・ ・ ・ ・	15
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	15
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	15
(3) 富士川圏域		・ ・ ・ ・ ・	17
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	17
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	17
(4) 安倍川圏域		・ ・ ・ ・ ・	19
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	19
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	19
(5) 大井川圏域		・ ・ ・ ・ ・	21
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	21
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	21
(6) 菊 川圏域		・ ・ ・ ・ ・	22
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	22
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	22
(7) 天竜川圏域		・ ・ ・ ・ ・	23
1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	23
2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方		・ ・ ・ ・ ・	23

1. 総合流域防災協議会

(1) 目 的

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国土交通省と静岡県は、水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、双方の施行事業の進め方について調整し、効果的・効率的に安全度の向上を図っていくために、静岡県を6つの圏域に分けて、圏域毎に総合流域防災協議会を平成17年度出水期前に設立しました。

(2) 圏域区分図



2. 静岡県 水害・土砂災害発生状況図

1. 水害は、平野部に集中
2. 土砂災害は、中山間地に集中
3. 近年ではH16の台風22号により県内全域で内水被害・土砂災害等が発生



S41.9 梅ヶ島地区
土石流により家屋全
壊11戸、死者26名

S54.10.19 台風20号 潤井川
家屋全壊3戸、半壊10戸 床上浸水702戸、床下浸水190戸



H10.8 来光川・柿沢川出水状況



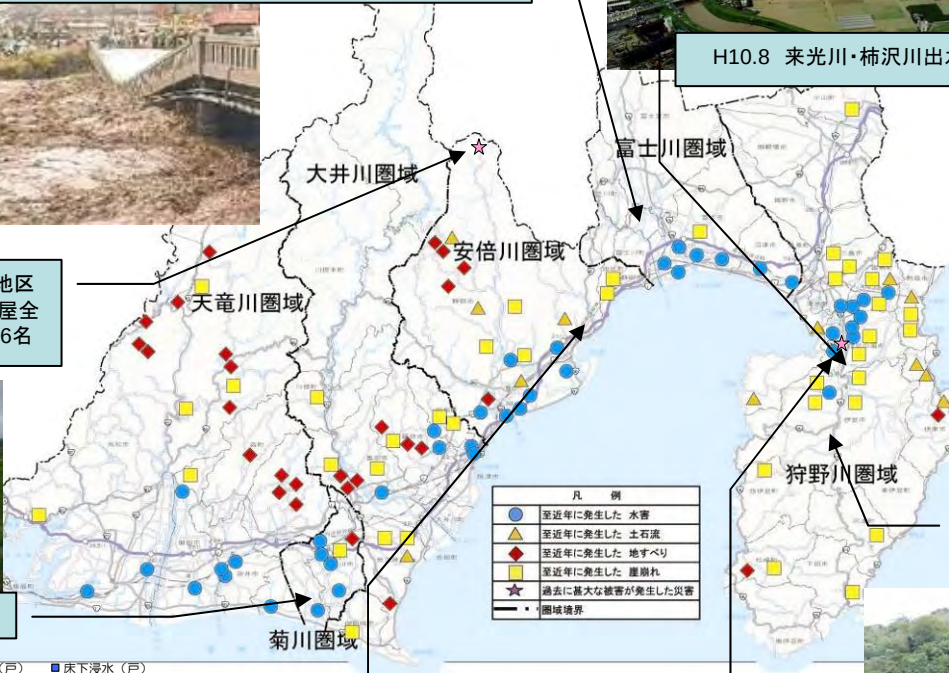
S33.9 洪水(狩野川台風)
・天城山系一帯で約1,200箇所の山腹・溪岸崩壊が発生
・堤防決壊(破堤15箇所、延長6,607m、決壊7箇所)
・氾濫面積3,000ha、死者・行方不明者853名、家屋被害6,775戸

至近10年の圏域別災害発生状況

	合計	
	床下	床上
狩野川圏域	2,358	1,877
富士川圏域	546	97
安倍川圏域	2,614	1,207
大井川圏域	854	186
菊川圏域	499	56
天竜川圏域	2,189	314
静岡県全体	9,060	3,737

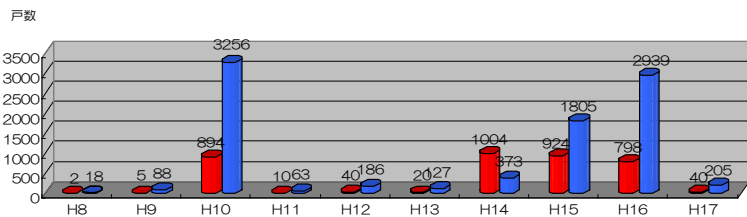


H16.10 台風22号 菊川



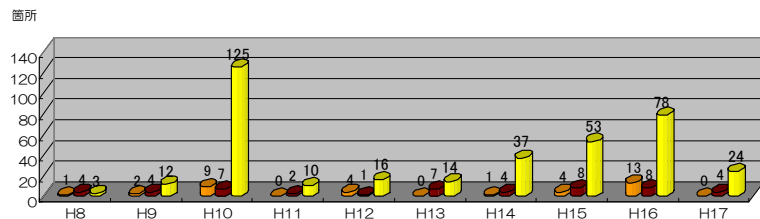
凡 例
● 至近年に発生した 水害
▲ 至近年に発生した 土石流
◆ 至近年に発生した 地すべり
■ 至近年に発生した 崖崩れ
★ 過去に甚大な被害が発生した災害
・ 圏域境界

静岡県 年度別 水害発生数



静岡県 年度別 土砂災害発生数

■ 土石流 (箇所) ■ 地すべり (箇所) ■ 急傾斜 (箇所)



静岡市内の浸水状況

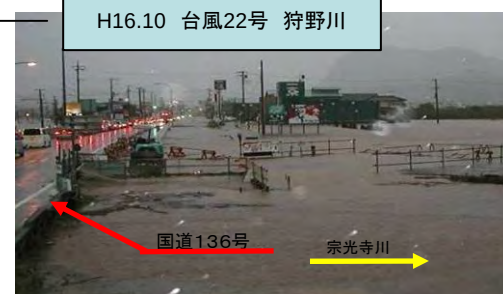
S49.7.7 七夕豪雨
国道1号線23日間不通
JR東海道本線7日間不通



東海道本線の災害状況(由比町)



H16.10 台風22号 狩野川



国道136号

宗光寺川

図面1

図面2

3. 静岡県 水害リスク評価

この水害リスク評価は、洪水や高潮が発生した時、相当程度の被害発生をリスクを知っていただくために、一定の改修が必要な区間を評価しました。

リスク評価は以下の4点に基づいています。

1. 現在の川の断面積で、洪水を安全に流すことが出来る最大の流量(流下能力)を評価しました。
2. 各河川により対象降雨や計画規模が異なります。
3. 高潮が影響する区間の評価は、堤防の高さと断面での評価も併せて行っています。
4. 洪水による洗堀、地震や津波に対する安全性は表現していません。



河積阻害となっている橋梁
狩野川水系黄瀬川橋

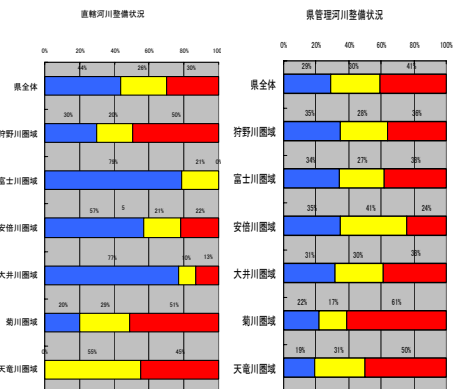
表示方法	整備の目標
	計画規模*1の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量に満たない区間

- 注)*1: 狩野川 4,000m³/sec(年超過確率1/100程度)
既往最大洪水(S33. 9狩野川台風)
富士川 16,600m³/sec(年超過確率1/150程度)
安倍川 6,000m³/sec(年超過確率1/150程度)
大井川 9,500m³/sec(年超過確率1/100程度)
菊川 年超過確率1/100程度の流量
天竜川 鹿島より上流: 年超過確率1/100程度の流量
鹿島より下流: 年超過確率1/150程度の流量
- *2: 狩野川 3,100m³/sec(年超過確率1/50程度)
狩野川台風に次ぐ規模の洪水
富士川 14,300m³/sec(戦後最大規模)
安倍川 4,400m³/sec(年超過確率1/30程度)
大井川 7,850m³/sec(年超過確率1/30程度)
菊川 平成10年9月洪水相当の流量
天竜川 戦後最大規模の流量

表示方法	整備の目標
	計画規模*1の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量を満足する区間
	当面の計画規模*2の流量に満たない区間

- 注)*1: 時間雨量90mm相当(年超過確率1/50程度)又は、
時間雨量80mm相当(年超過確率1/30程度)
- *2: 時間雨量50mm相当(年超過確率1/5程度)

表示方法	計画高さ	計画断面
	満足する区間	満足する区間
	満足する区間	満たない区間
	満たない区間	満足する区間
	満たない区間	満たない区間



3. 静岡県の土砂災害対策(その1)

図面3

あなたのまちの危険箇所

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成18年4月1日 現在)

圏域	所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所 危険箇所数				土砂災害警戒区域等 区域指定状況				ハザードマップ 作成状況 (作成年度)	危険箇所 表示板 設置数	情報機器の整備	
			土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			設置 年度	機器の種別
狩野川	下田	下田市	235		311	546	3		5	8	H16	216	H14	CATV、メール配信
		東伊豆町	23	6	56	85					H16	60		
		河津町	92	5	112	209					H16	96	H14	CATV、有線電話
		南伊豆町	252	1	245	498					H16	183	H14	メール配信
		松崎町	92	1	128	221					(H8)H18	109	H16	CTI、同報無線
		西伊豆町	86	1	116	203					(H8)H18	123		
		小 計	780	14	968	1,762	3		5	8		787		
	熱海	熱海市	98	1	167	266	1		13	14	H16	159	H16	CTI、同報無線
		伊東市	105	2	216	323					H14	140	H15	CATV
		小 計	203	3	383	589	1		13	14		299		
	沼津	沼津市	105		161	266					H15	166	H15	同報無線
		三島市	23		82	105			30	30	H15	55	H17	CTI、同報無線
		御殿場市	30		7	37					H13	17		
		裾野市	44		38	82					H16	54		
		伊豆市	480	8	371	859					H15	484		
		伊豆の国市	103	1	198	302					H15	135	H15(旧大仁)	同報無線、電話応答装置
		函南町	32	1	74	107			4	4	H14	46		
		清水町	2		16	18					H15	7		
		長泉町	2		29	31					H15	13		
		小山町	47		61	108					H16	71		
		小 計	868	10	1,037	1,915			34	34		1,048		
	狩野川圏域計		1,851	27	2,388	4,266	4		52	56		2,134		
富士川	沼津	沼津市	11		8	19					H15	14	H15	同報無線
		小 計	11		8	19						14		
	富士	富士宮市	40		111	151	3			3	H15	57	H16	同報無線、電話応答装置
		富士市	24		108	132					H13	45	H17	コミュニティFM送信装置
		芝川町	67	1	164	232					H13	94		
		小 計	131	1	383	515	3			3		196		
	静岡	富士川町	33	1	60	94					H13	39		
小 計		33	1	60	94						39			
富士川圏域計		175	2	451	628	3			3		249			
安倍川	静岡	静岡市	872	5	1,647	2,524	12		21	33	(H9)H18	1,239		
		由比町	26	6	80	112					H16	35		
		小 計	898	11	1,727	2,636	12		21	33		1,274		
	安倍川圏域計		898	11	1,727	2,636	12		21	33		1,274		
大井川	静岡	静岡市	21		56	77					(H9)H18	16		
		小 計	21		56	77						16		
	島田	島田市	163	13	389	565					H15・16	136	H14	インターネット配信
		焼津市	24	1	48	73					H14	42		
		藤枝市	119	26	318	463					H13	163	H14	CTI
		岡部町	86	1	128	215					H13	65	H14	同報無線
		大井川町												
		川根町	35	13	104	152					H13	35		
		川根本町	42		143	185					H13	42		
	小 計	469	54	1,130	1,653						483			
	御前崎	御前崎市	12		324	336					H16	26		
		牧之原市	44	2	320	366					H15・16	66		
		吉田町			6	6					H16	2		
		小 計	56	2	650	708						94		
	大井川圏域計		546	56	1,836	2,438						593		
菊川	袋井	掛川市	23		241	264					H15	44	H16	CTI
		菊川市	44		423	467						82	H16	CTI、メール配信
		小 計	67		664	731						126		
	菊川圏域計		67		664	731						126		
天竜川	袋井	磐田市	66		211	277					H15	44		
		掛川市	111	11	640	762	14		34	48	H15	88	H15	同報無線、電話応答装置
		袋井市	32		220	252					H15	44	H16	CTI
		森町	59	5	364	428					H13	52	H15	同報無線、電話応答装置
		小 計	268	16	1,435	1,719	14		34	48		228		
	天竜	浜松市(1)	292	66	898	1,256	10			10	(H9～15)H18	538	H13～H15	CTI、同報無線
		小 計	292	66	898	1,256	10			10		538		
	浜松	浜松市(2)	148	5	1,183	1,336	7		21	28	H13～16	251	H15(旧引佐)	同報無線、電話応答装置
		浜松市計	440	71	2,081	2,592	17		21	38		789		
		湖西市	2		151	153					H15	34		
		新居町			30	30					H16	16		
		小 計	150	5	1,364	1,519	7		21	28		301		
	天竜川圏域計		710	87	3,697	4,494	31		55	86		1,067		
合 計		4,247	183	10,763	15,193	50		128	178		5,443			

■ハザードマップ配布率は、掲載箇所数／危険箇所数

■CTI: 予め登録された住民の方々へ自動的に電話連絡するシステム

3. 静岡県の土砂災害対策(その2)

図面3

あなたのまちの安全度

土砂災害危険箇所内の、土砂災害防止施設を整備すべき箇所における整備状況

(平成18年4月1日 現在)

圏域	所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
			要対策 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
狩 野 川	下田	下田市	94	14	14.9				164	21	12.8	258	35	13.6
		東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
		河津町	53	13	24.5	5	2	40.0	44	12	27.3	102	27	26.5
		南伊豆町	119	8	6.7	1	1	100.0	131	33	25.2	251	42	16.7
		松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	18	23.4	149	26	17.4
		西伊豆町	64	16	25.0	1			67	16	23.9	132	32	24.2
		小 計	417	66	15.8	14	5	35.7	521	107	20.5	952	178	18.7
	熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	12	12.6	187	29	15.5
		伊東市	82	20	24.4	2	1	50.0	110	22	20.0	194	43	22.2
		小 計	173	37	21.4	3	1	33.3	205	34	16.6	381	72	18.9
	沼津	沼津市	87	15	17.2				123	63	51.2	210	78	37.1
		三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
		御殿場市	8	5	62.5				3			11	5	45.5
		裾野市	23	8	34.8				24	6	25.0	47	14	29.8
		伊豆市	328	34	10.4	8	1	12.5	148	27	18.2	484	62	12.8
		伊豆の国市	74	2	2.7	1			82	22	26.8	157	24	15.3
		函南町	14	3	21.4	1			32	5	15.6	47	8	17.0
		清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
		長泉町	1						18	1	5.6	19	1	5.3
		小山町	35	9	25.7				37	16	43.2	72	25	34.7
		小 計	587	79	13.5	10	1	10.0	517	157	30.4	1114	237	21.3
	狩野川圏域計		1,177	182	15.5	27	7	25.9	1,243	298	24.0	2,447	487	19.9
富 士 川	沼津	沼津市	9	4	44.4				5	2	40.0	14	6	42.9
		小 計	9	4	44.4				5	2	40.0	14	6	42.9
	富士	富士宮市	34	3	8.8				33	11	33.3	67	14	20.9
		富士市	20	6	30.0				34	15	44.1	54	21	38.9
		芝川町	32	8	25.0	1			48	8	16.7	81	16	19.8
		小 計	86	17	19.8	1			115	34	29.6	202	51	25.2
	静岡	富士川町	28	6	21.4	1	1	100.0	21	12	57.1	50	19	38.0
		小 計	28	6	21.4	1	1	100.0	21	12	57.1	50	19	38.0
	富士川圏域計		123	27	22.0	2	1	50.0	141	48	34.0	266	76	28.6
安 倍 川	静岡	静岡市	513	98	19.1	5	3	60.0	626	247	39.5	1,144	348	30.4
		由比町	17	8	47.1	6			22	11	50.0	45	19	42.2
		小 計	530	106	20.0	11	3	27.3	648	258	39.8	1,189	367	30.9
	安倍川圏域計		530	106	20.0	11	3	27.3	648	258	39.8	1,189	367	30.9
大 井 川	静岡	静岡市	10	2	20.0				6			16	2	12.5
		小 計	10	2	20.0				6			16	2	12.5
	島田	島田市	65	13	20.0	13	6	46.2	107	47	43.9	185	66	35.7
		焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	19	76.0	39	27	69.2
		藤枝市	36	7	19.4	26	4	15.4	75	37	49.3	137	48	35.0
		岡部町	33	17	51.5	1	2	100.0	42	13	31.0	76	32	42.1
		大井川町												
		川根町	18	3	16.7	13			25	10	40.0	56	13	23.2
		川根本町	23	4					33	7	21.2	56	11	19.6
		小 計	188	51	27.1	54	13	24.1	307	133	43.3	549	197	35.9
	御前崎	御前崎市	1						33	14	42.4	34	14	41.2
		牧之原市	13	11	84.6	2	3	100.0	57	15	26.3	72	29	40.3
		吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
		小 計	14	11	78.6	2	3	100.0	93	31	33.3	109	45	41.3
	大井川圏域計		212	64	30.2	56	16	28.6	406	164	40.4	674	244	36.2
菊 川	袋井	掛川市	2						42	5	11.9	44	5	11.4
		菊川市	9	2			1		84	26	31.0	93	29	31.2
		小 計	11	2	18.2		1		126	31	24.6	137	34	24.8
	菊川圏域計		11	2	18.2		1		126	31	24.6	137	34	24.8
天 竜 川	袋井	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
		掛川市	37			11	4	36.4	60	14	23.3	108	18	16.7
		袋井市	7						30	8	26.7	37	8	21.6
		森町	23	5	21.7	5	2	40.0	26	3	11.5	54	10	18.5
		小 計	87	6	6.9	16	6	37.5	149	28	18.8	252	40	15.9
	天竜	浜松市(1)	128	41	32.0	66	19	28.8	306	60	19.6	500	120	24.0
		小 計	128	41	32.0	66	19	28.8	306	60	19.6	500	120	24.0
	浜松	浜松市(2)	43	8	18.6	5	3	60.0	281	61	21.7	329	72	21.9
		浜松市計	171	49	28.7	71	22	31.0	587	121	20.6	829	192	23.2
		湖西市							38	5	13.2	38	5	13.2
		新居町							16	4	25.0	16	4	25.0
		小 計	43	8	18.6	5	3	60.0	335	70	20.9	383	81	21.1
	天竜川圏域計		258	55	21.3	87	28	32.2	790	158	20.0	1,135	241	21.2
	合 計		2,311	436	18.9	183	56	30.6	3,354	957	28.5	5,848	1,449	24.8

■土石流危険渓流は人家5戸以上に被害を与えるおそれのある渓流

■急傾斜地崩壊危険箇所は人家5戸以上に被害を与えるおそれのある箇所

4. 静岡県 H18年度事業実施箇所位置図

図面4

H18年度事業実施箇所は、水害・土砂災害の発生状況や河川・砂防の整備状況を踏まえ、別添のH18年度事業実施箇所一覧表に示すハード・ソフト対策を予定しています。本位置図は、これらの大まかな位置を示しています。

また、下記の事項について整備・強化を進めます。

- ・警戒避難体制の整備・強化（災害情報協議会、ハザードマップ作成支援、土砂災害警戒区域等の指定、防災訓練の実施等）
- ・災害情報の伝達・提供（雨量や水位の情報に加え、避難勧告等の発令基準となる情報提供）
- ・災害発生時の広域的な対応（防災ステーションの活用、ヘリコプターによる情報収集やポンプ車等の災害対策車配備等の広域支援等）
- ・水防活動の充実（洪水予報・水位情報周知河川の拡大、水防協力団体指定制度の活用等）



17 八木沢大川水門工(地震高潮対策)



1 太田川ダム



12 安倍川大谷山腹工



8 富士川大沢川床固工



4 狩野川月ヶ瀬砂防えん堤



10 安倍川左岸堤防補強工



7 木瀬川排水樋管



排水ポンプ車



照明車



災害対策本部車

静岡県H18年度事業実施箇所一覧表(直轄)

河川事業

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名 (地区名)	工区名	主な事業内容	圏域名
1	河川等災害復旧事業	沼津市	狩野川	狩野川	三枚橋	根固工	狩野川
2	河川等災害復旧事業	函南町	狩野川	来光川	来光川	護岸工	狩野川
3	河川等災害復旧事業	伊豆の国市	狩野川	狩野川放水路	珍野	護岸工	狩野川
4	特定構造物改修事業	沼津市	狩野川	黄瀬川	黄瀬川橋	用地取得	狩野川
5	床上浸水対策特別緊急事業	伊豆の国市	狩野川	狩野川	原木	吐出水路工	狩野川
6	床上浸水対策特別緊急事業	伊豆の国市	狩野川	狩野川	神島	機場本体工	狩野川
7	直轄河川改修事業	沼津市	狩野川	狩野川	木瀬川地区	樋管工	狩野川
8	直轄河川改修事業	伊豆の国市	狩野川	柿沢川	長崎	樋管工、築堤工、護岸工	狩野川
9	直轄総合水系環境整備事業	沼津市	狩野川	狩野川	徳倉	護岸工、高水敷整備工	狩野川
10	直轄河川改修事業	静岡市	安倍川	安倍川	安倍川左岸緊急対策特定区間	堤防補強工	安倍川
11	直轄河川改修事業	静岡市	安倍川	安倍川	足久保	護岸工、高水敷整備工	安倍川
12	直轄総合水系環境整備事業	静岡市	安倍川	安倍川	牛妻	護岸工、高水敷整備工	安倍川
13	直轄河川改修事業	島田市	大井川	大井川	牛尾	築堤工、護岸工	大井川
14	直轄総合水系環境整備事業	島田市	大井川	大井川	赤松	親水護岸工	大井川
15	直轄河川改修事業	掛川市	菊川	菊川	同所	河道掘削	菊川
16	直轄河川改修事業	磐田市	天竜川下流	天竜川下流	池田	河道掘削	天竜川
17	直轄総合水系環境整備事業	浜松市	天竜川下流	天竜川下流	中瀬	堤防整備工	天竜川

砂防事業

1	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	狩野川	日向	砂防えん堤工	狩野川
2	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	城川	八幡	砂防えん堤工	狩野川
3	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	深沢川	大平	床固工群	狩野川
4	直轄砂防事業	伊豆市	狩野川	狩野川	月ヶ瀬	砂防えん堤工	狩野川
5	直轄砂防事業	富士市	富士川	沼川	須津川	砂防えん堤工	富士川
6	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	足取川	大久保沢	砂防えん堤工	富士川
7	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	芝川	猪の窪川	護岸工	富士川
8	直轄砂防事業	富士宮市	富士川	潤井川	大沢川	床固工	富士川
9	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	中尾沢	砂防えん堤工	安倍川
10	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	三河内川	床固工群	安倍川
11	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	ウラの沢	土石流対策事業	安倍川
12	直轄砂防事業	静岡市	安倍川	安倍川	大谷	山腹工	安倍川

地すべり対策事業

1	直轄地すべり対策事業	由比町	-	-	由比地区	抑制工、工事用道路	安倍川
---	------------	-----	---	---	------	-----------	-----

ダム事業

1	直轄堰堤維持事業	島田市	大井川	大井川	島田地区	光ケーブル敷設工	大井川
---	----------	-----	-----	-----	------	----------	-----

静岡県H18年度事業実施箇所一覧表(補助)

河川事業(国庫補助事業)

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名 (地区名)	工区名	主な事業内容	圏域名
1	広域基幹1	三島市	狩野川	大場川	大場川	橋梁上部工・護岸工	狩野川
2	広域基幹1	沼津市	富士川	沼川	沼川	掘削工	富士川
3	広域基幹2	沼津市	新中川	新中川	新中川	護岸工・用地補償	富士川
4	広域基幹2	藤枝市、焼津市、岡部町	瀬戸川	瀬戸川	瀬戸川	護岸工・用地補償費	大井川
5	広域基幹2	焼津市	瀬戸川	瀬戸川	石脇川	護岸工	大井川
6	広域基幹2	磐田市 袋井市	太田川	太田川	太田川	掘削工	天竜川
7	広域基幹2	磐田市	太田川	太田川	敷地川	樋門工	天竜川
8	広域基幹2	牧ノ原市	萩間川	萩間川	萩間川	用地補償	大井川
9	床上基幹1	伊豆の国市	狩野川	韭山古川	韭山古川	橋梁工・護岸工	狩野川
10	床上基幹1	伊豆の国市	狩野川	戸沢川	戸沢川	測量調査設計・用地買収	狩野川
11	都市基幹1	浜松市	天竜川	安間川	安間川	用地補償	天竜川
12	都市基幹2	浜松市	馬込川	馬込川	馬込川	掘削工・用地補償	天竜川
13	都市基幹2	浜松市	都田川	都田川	新川	築堤工	天竜川
14	都市基幹2	湖西市	都田川	都田川	入出太田川	護岸工	天竜川
15	都市基幹2	浜松市	都田川	都田川	井伊谷川	護岸工	天竜川
16	耐震2	牧ノ原市	勝間田川	駿河湾地区	勝間田川	用地買収、橋梁下部工	大井川
17	耐震2	伊豆市	八木沢大川	駿河湾地区	八木沢大川	水門工	狩野川
18	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川(放水路)	底張り工	安倍川
19	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川(大内遊水地)	掘削工	安倍川
20	総治2	静岡市	巴川	巴川	巴川(麻機遊水地)	橋梁工・掘削築堤	安倍川
21	都市基盤1	富士市	富士川	富士早川	富士早川	護岸工・用地買収	富士川
22	都市基幹1	静岡市	安倍川	大門川	大門川	橋梁工	安倍川
23	都市基幹2	静岡市	浜川	浜川	浜川	橋梁設計・物件調査	安倍川
24	都市基盤2	浜松市	都田川	九領川	九領川	用地費	天竜川
25	総流防(広域一般1)	長泉町	狩野川	黄瀬川	梅の木沢川	用地補償・護岸工	狩野川
26	総流防(広域一般1)	磐田市	天竜川	一雲済川	一雲済川	橋梁下部工・樋管工	天竜川
27	総流防(広域一般1)	菊川市	菊川	西方川	西方川	測量調査設計・用地調査	菊川
28	総流防(広域一般1)	沼津市	狩野川	沼津江川	沼津江川	護岸工・根固め工	狩野川
29	総流防(広域一般1)	三島市、清水町	狩野川	境川	境川	護岸工	狩野川
30	総流防(広域一般1)	芝川町	富士川	稲瀬川	稲瀬川	用地補償	富士川
31	総流防(広域基幹1)	伊豆の国市	狩野川	韭山古川	韭山古川	橋梁下部工・用地補償	狩野川
32	総流防(広域一般2)	静岡市	庵原川	庵原川	庵原川	橋梁上部工・下部工	安倍川
33	総流防(利用推進2)	浜松市	都田川	浜名湖	浜名湖(佐浜)	護岸工	天竜川
34	総流防(流貯1)	三島市	狩野川	大場川	大場川(三島北高校)	擁壁工	狩野川
35	総流防(流貯2)	静岡市	巴川	巴川	巴川(静岡農業高校)	擁壁工	安倍川
36	総流防(流貯2)	静岡市	巴川	巴川	巴川(静岡高校)	測量調査設計	安倍川
37	総流防(準用1)	富士市	富士川	下堀川	下堀川	護岸工・橋梁下部工	富士川
38	総流防(準用1)	静岡市	安倍川	大沢川	大沢川	護岸工	安倍川
39	総流防(準用2)	藤枝市	瀬戸川	法ノ川	法ノ川	築堤工	大井川
40	総流防(堤防質の改良)	袋井市	太田川	原野谷川	原野谷川	堤防補強	天竜川
41	統合環境	浜松市	都田川	新川	佐鳴湖	河道底質改善	天竜川
	総流防(情報)	全県					
	総流防(ハザードマップ)	焼津市・大井川町・吉田町・袋井市・浜松市					

ダム事業(国庫補助事業)

NO	事業名	市町村名	水系名	河川名(地区名)	工区名	主な事業内容	圏域名
1	河川総合開発	森町	太田川	太田川	太田川ダム	本体工	天竜川
2	小規模生活調整池	静岡市	興津川	布沢川	布沢川ダム	工事用道路工	安倍川

砂防事業(国庫補助事業)

NO	事業名	市町名	水系名	河川名	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	通常砂防	下田市	稲生沢川	稲生沢川	上藤原川	砂防えん堤工	狩野川
2	通常砂防	下田市	大賀茂川	大賀茂川	大賀茂反保沢	砂防えん堤工	狩野川
3	火山砂防	東伊豆町	濁川	濁川	濁川	砂防えん堤工	狩野川
4	火山砂防	河津町	河津川	河津川	桃の木沢	測量調査設計	狩野川
5	通常砂防	南伊豆町	青野川	鈴野川	鈴野川左支川	砂防えん堤工	狩野川
6	通常砂防	南伊豆町	青野川	青野川	谷戸沢	砂防えん堤工	狩野川
7	通常砂防	西伊豆町	宇久須川	大久須川	大久須川	砂防えん堤工	狩野川
8	通常砂防	西伊豆町	安良里坂本川	安良里坂本川	安良里坂本川	砂防えん堤工	狩野川
9	火山砂防	熱海市	鍛冶川	鍛冶川	鍛冶川支川	測量調査設計	狩野川
10	火山砂防	伊東市	伊東宮川	伊東宮川	塩木道沢	砂防えん堤工	狩野川
11	特定緊急砂防	伊東市	烏川	多賀地川	多賀地川	測量調査設計	狩野川
12	火山砂防	沼津市	立保川	立保川	立保川	砂防えん堤工	狩野川
13	火山砂防	沼津市	陰野川	陰野川	甚根路川	砂防えん堤工	狩野川
14	火山砂防	沼津市	戸田大川	戸田大川	茨原川	砂防えん堤工	狩野川
15	特定緊急砂防	沼津市	大浦洞沢	大浦洞沢	大浦洞沢	溪流保全工	狩野川
16	火山砂防	裾野市	狩野川	泉川	入田川	砂防えん堤工	狩野川
17	火山砂防	裾野市	狩野川	佐野川	須山滝ノ沢	砂防えん堤工	狩野川
18	火山砂防	伊豆市	小土肥大川	小土肥大川	寸場川	砂防えん堤工	狩野川
19	火山砂防	伊豆の国市	狩野川	谷戸川	守木山田川	測量調査設計	狩野川
20	火山砂防	函南町	狩野川	柿沢川	丹那沢	砂防えん堤工	狩野川
21	火山砂防	小山町	鮎沢川	鮎沢川	金時川	砂防えん堤工	狩野川
22	通常砂防	静岡市	安倍川	安倍川	森谷沢	砂防えん堤工	安倍川
23	通常砂防	静岡市	安倍川	丸子川	泉ヶ谷沢口沢	砂防えん堤工	安倍川
24	通常砂防	静岡市	安倍川	足久保川	栗尾沢	測量調査設計	安倍川
25	通常砂防	静岡市	安倍川	丸子川	セリガ谷沢	測量調査設計	安倍川
26	通常砂防	静岡市	安倍川	丸子川	立川	測量調査設計	安倍川
27	通常砂防	静岡市	巴川	巴川	沢の谷沢	砂防えん堤工	安倍川
28	通常砂防	静岡市	巴川	大谷川放水路	長沢川3号支川	測量調査設計	安倍川
29	通常砂防	静岡市	巴川	牛ヶ谷川	天白沢左支川	砂防えん堤工	安倍川
30	通常砂防	静岡市	興津滝の沢	興津滝の沢	興津滝の沢	砂防えん堤工	安倍川
31	通常砂防	静岡市	中ノ谷沢	中ノ谷沢	中ノ谷沢右支川	砂防えん堤工	安倍川
32	通常砂防	藤枝市	瀬戸川	葉梨川	ビツ沢	砂防えん堤工	大井川
33	通常砂防	掛川市	太田川	太田川	黒俣沢奥沢	砂防えん堤工	天竜川
34	通常砂防	浜松市	天竜川	阿多古川	藤瀬川	砂防えん堤工	天竜川
35	通常砂防	浜松市	天竜川	二俣川	ヒノキ沢	測量調査設計	天竜川
36	通常砂防	浜松市	天竜川	水窪川	竜戸南沢	砂防えん堤工	天竜川
37	通常砂防	浜松市	天竜川	気田川	奥沢	砂防えん堤工	天竜川
	情報基盤	全県					
	相互通報	全県					
	基礎調査	全県					

地すべり対策事業(国庫補助事業)

NO	事業名	市町名	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	地すべり	静岡市	口坂本	集水井工	安倍川
2	特定緊急地すべり	島田市	神尾	横ボーリング工	大井川
3	特定緊急地すべり	藤枝市	滝沢	吹付法枠工	大井川
4	地すべり	掛川市	滝之谷川	横ボーリング工	天竜川
5	地すべり	掛川市	滝之谷川No.2	横ボーリング工	天竜川
6	地すべり	掛川市	上川原	集水ボーリング工	天竜川
7	地すべり	浜松市	静修	集水ボーリング工	天竜川
8	地すべり	浜松市	金川開拓	横ボーリング工	天竜川
9	地すべり	浜松市	大滝	集水井工	天竜川
10	地すべり	浜松市	上村	集水井工	天竜川
11	地すべり	浜松市	向島	集水ボーリング工	天竜川
12	地すべり	浜松市	本村	集水ボーリング工	天竜川
	情報基盤	全県			
	相互通報	全県			
	基礎調査	全県			

急傾斜地崩壊対策事業(国庫補助事業)

NO	事業名	市町名	箇所名	主な事業内容	圏域名
1	急傾斜	下田市	河内片瀬	擁壁工	狩野川
2	急傾斜	下田市	西本郷一丁目	擁壁工	狩野川
3	総流防(急傾斜)	下田市	柿崎宮ノ背	擁壁工	狩野川
4	急傾斜	河津町	見高浜	擁壁工	狩野川
5	急傾斜	南伊豆町	二條八反田	擁壁工	狩野川
6	急傾斜	南伊豆町	大瀬高見山	擁壁工	狩野川
7	急傾斜	南伊豆町	下賀茂日詰	測量調査設計	狩野川
8	急傾斜	松崎町	石部小平野	測量調査設計	狩野川
9	総流防(急傾斜)	松崎町	岩地郷戸	擁壁工	狩野川
10	急傾斜	西伊豆町	仁科渋川	擁壁工	狩野川
11	急傾斜	西伊豆町	宇久須大久保	擁壁工	狩野川
12	急傾斜	熱海市	伊豆山坂東	測量調査設計	狩野川
13	急傾斜	伊東市	海峰苑	法枠工	狩野川
14	急傾斜	伊東市	宇佐美向田	擁壁工	狩野川
15	急傾斜	沼津市	口野洞山	擁壁工	狩野川
16	総流防(急傾斜)	沼津市	江浦四面坂	擁壁工	狩野川
17	急傾斜	三島市	市山新田No. 2	法枠工	狩野川
18	急傾斜	伊豆市	小立野	擁壁工	狩野川
19	急傾斜	伊豆市	小土肥出口	擁壁工	狩野川
20	急傾斜	伊豆市	平野	擁壁工	狩野川
21	急傾斜	伊豆市	土肥中村	擁壁工	狩野川
22	急傾斜	伊豆市	下船原	擁壁工	狩野川
23	急傾斜	伊豆市	佐野上根岸	擁壁工	狩野川
24	急傾斜	伊豆の国市	皆沢	擁壁工	狩野川
25	急傾斜	伊豆の国市	横山段	擁壁工	狩野川
26	急傾斜	伊豆の国市	神島小室	擁壁工	狩野川
27	急傾斜	小山町	西沢No. 2	法枠工	狩野川
28	総流防(急傾斜)	芝川町	芝川大久保	擁壁工	富士川
29	急傾斜	静岡市	油山井戸沢	擁壁工	安倍川
30	急傾斜	静岡市	日向中村	擁壁工	安倍川
31	急傾斜	静岡市	春日3丁目	法枠工	安倍川
32	急傾斜	静岡市	横山	擁壁工	安倍川
33	急傾斜	静岡市	丸子芹ヶ谷町b	擁壁工	安倍川
34	急傾斜	静岡市	小河内堂ノ前	擁壁工	安倍川
35	急傾斜	静岡市	中河内向田	測量調査設計	安倍川
36	急傾斜	由比町	陣笠山	擁壁工	安倍川
37	急傾斜	由比町	西山寺No.2	擁壁工	安倍川
38	急傾斜	由比町	寺下	擁壁工	安倍川
39	急傾斜	島田市	東光寺屋敷	擁壁工	大井川
40	急傾斜	島田市	伊久美二俣	擁壁工	大井川
41	総流防(急傾斜)	島田市	落合矢崎	擁壁工	大井川
42	急傾斜	藤枝市	主前	擁壁工	大井川
43	総流防(急傾斜)	藤枝市	岡出山	法枠工	大井川
44	急傾斜	岡部町	岡部廻沢	擁壁工	大井川
45	急傾斜	岡部町	桂島谷川口	擁壁工	大井川
46	急傾斜	川根町	笹間下上河内上	擁壁工	大井川
47	急傾斜	川根町	身成原下方	擁壁工	大井川
48	急傾斜	川根本町	上長尾梅島下	擁壁工	大井川
49	急傾斜	川根本町	久野脇三ツ間	擁壁工	大井川
50	急傾斜	牧之原市	宮本	測量調査設計	大井川
51	急傾斜	牧之原市	片浜	擁壁工	大井川
52	総流防(急傾斜)	牧之原市	柿ヶ谷	擁壁工	大井川
53	急傾斜	牧之原市	勝俣新戸	測量調査設計	大井川
54	総流防(急傾斜)	菊川市	八幡ヶ谷	擁壁工	菊川
55	総流防(急傾斜)	菊川市	神明前	測量調査設計	菊川
56	総流防(急傾斜)	菊川市	東平尾	擁壁工	菊川
57	総流防(急傾斜)	掛川市	宇洞	測量調査設計	天竜川
58	急傾斜	浜松市	上平田	擁壁工	天竜川
59	急傾斜	浜松市	東雲名島	擁壁工	天竜川
60	急傾斜	浜松市	渡ヶ島久保	擁壁工	天竜川
61	急傾斜	浜松市	気田中	擁壁工	天竜川
62	急傾斜	浜松市	矢島東	法枠工	天竜川
63	急傾斜	浜松市	長尾宝平	測量調査設計	天竜川
	情報基盤	全県			
	相互通報	全県			
	基礎調査	全県			

5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

(1) 県全体の水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

・静岡県は日本のほぼ中央、太平洋に面した位置にあり、東西 155km、南北は 118km、面積は 7,779km² で全国 13 位の広さです。

①自然的特性

・地形：北は富士山、南アルプス連峰の山々が連なり、南側には最深 3,000m 以上もある駿河トラフを抱え、急峻かつ変化に富んでいます。

・地質：当県の地質は、さまざまな地質により成り立っており、北から南に、領家・三波川・秩父帯、四万十帯、瀬戸川帯及び大井川丹沢帯が形成時期の順に西から並び、これらに沿って、糸魚川ー静岡構造線で代表されるフォッサマグナの断層群があります。

また、富士山や伊豆半島の新しい火山群など地熱活動の盛んな地域もあり、当県は多種多様にわたる脆弱で崩壊しやすい地質の地盤が全県に分布しています。

・気候：年平均気温は、16℃前後と温暖です。

また、年平均降水量も 2,300mm と全国平均（1,800mm）を上回っています。

・地震：近い将来には、東海地震が発生し、駿河湾及び遠州灘には、津波が押し寄せることが想定されています。

②社会特性

・東京、名古屋などの大消費地をひかえ、交通条件にも恵まれていることから、多彩な産業が集積しています。

全国一のお茶や桜えび等の農林水産業に加え、製紙、楽器、オートバイ、自動車など各種工業が盛んで、その出荷額は全国 3 位に位置しています。

・平野は、狩野川、富士川、安倍川、大井川、菊川、天竜川の下流部にあり、人口の大半が浸水区域に集中しています。

そこには日本の交通の要衝となる、JR 東海道線、東海道新幹線、東名高速道路、国道 1 号等が通っています。

③過去の災害特性

・当県は、地形、地質や気象条件により多くの災害が発生しており、土砂災害の過去 10 年間の平均発生件数は約 45 件で全国平均のおよそ 2 倍となっています。

・県東部、伊豆半島では、昭和 33 年狩野川台風、昭和 53 年 1 月伊豆大島近海地震、平成 3 年 9 月豪雨、平成 10 年 8 月豪雨、平成 16 年 10 月台風 22 号等により、貴重な人命や財産が失われる甚大な被害が発生しています。

・昭和 49 年 7 月七夕豪雨では、多くのがけ崩れにより 21 名が犠牲となった静岡市を中心に、全県の至る所で水害・土砂災害が発生し貴重な人命や財産が失われる記録的な災害が発生しました。

・県西部の北遠地域には急峻な地形と中央構造線沿いには脆い地質が分布していることから、地すべりやがけ崩れ災害が頻発しており、平成 10 年 10 月の台風 10 号のがけ崩れでは貴重な人命や財産が失われる甚大な被害が発生しています。

1) 水害対策の現状の課題と当面の進め方

現在、整備が必要な堤防延長に対する国管理河川の整備率は約 43.9%、県管理河川の整備率は約 47.9%と低い状態にあり、県内では毎年のように浸水被害が発生しています。

このため、県民の皆様の安全、安心な生活を守るために、水害を軽減する河川整備が強く求められています。

しかし、厳しい財政状況の中、河川整備への予算も年々減少しています。そのため、災害河川への重点投資など効果的な事業実施を目指します。

また、地域の警戒避難体制の整備を図るハザードマップの作成支援等のソフト対策も併せて実施します。

さらに、発生が予想される東海地震に伴う津波対策についても引き続き実施します。

2) 土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

このような状況から、人命を守る上では、施設整備（ハード対策）による土砂災害対策を着実に進めるとともに、大雨の時や土砂崩れ等の前兆現象がみられた時には、速やかに避難することができる体制づくりが重要です。

このため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、市町による警戒避難体制の整備を促進するための土砂災害警戒区域等の指定や、市町による避難勧告等に必要な情報提供が出来るようソフト対策を推進しており、県と静岡地方気象台が共同発表する土砂災害警戒情報システムについて、平成 19 年 6 月の運用開始を目指し、現在試験運用に入っています。

3) 水害・土砂災害における総合的な危機管理対策

従来からのハード対策に加え、市町と連携してソフト対策を推進することにより、地域の防災力を高めるよう、次のような総合的な水害・土砂災害対策に取り組めます。

・警戒避難体制の整備・強化（災害情報協議会の設置、ハザードマップの作成支援、土砂災害警戒区域等の指定、防災訓練・防災講習会の実施）

・災害情報の伝達・提供（雨量や水位の情報に加え、住民への避難勧告等の発令基準となる情報の提供）

（２）狩野川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

狩野川水系については、既往最大洪水（昭和 33 年 9 月狩野川台風洪水）を目標とする河川整備基本方針の整備水準に向けて、段階的に整備を進めることとし、当面の目標として平成 17 年 12 月に策定した「狩野川水系河川整備計画」に基づき整備を推進します。

整備計画では、狩野川台風に次ぐ規模の洪水（概ね 50 年に 1 回発生する規模の洪水に相当）を安全に流下させることを目標としています。

現状としては、本川及び支川黄瀬川等において堤防が整備されていない区間や堤防の高さや幅が不足している区間が残されており、特に本川と支川黄瀬川との合流部付近では、無堤区間や橋梁改築を伴う堤防要整備区間が残っています。

当面の事業の進め方として、本川下流部における無堤部の木瀬川地区の堤防整備を行うとともに密集市街地では特殊堤による堤防整備や河道掘削を実施し、洪水被害の軽減を目指します。

支川黄瀬川については整備計画目標流量を流すために、河積阻害となっている黄瀬川橋の改築事業を推進します。

また、平成 16 年 10 月の台風 22 号、平成 17 年 8 月の台風 11 号など近年の出水で毎年のように大きな内水による浸水被害を受けている四日町地区（伊豆の国市）、小坂地区（伊豆の国市）では排水ポンプの増強及び戸沢川、菰山古川での河川改修を進めるほか、宗光寺地区（伊豆の国市）など内水被害常襲地区では、国、県、市町、地域と連携・調整し必要な対策を実施します。

他の狩野川中流域では、三島山田川、境川、下流域では沼津江川、黄瀬川流域では、梅の木沢川で河川改修を実施するとともに、大場川流域において流域貯留施設を整備し、被害の軽減に努めています。

このほか、地震・高潮対策として実施中の八木沢大川の耐震対策事業（水門工事）が本年度完了します。

ソフト対策としては、ハザードマップの整備を推進します。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

平成 15 年 7、8 月豪雨により狩野川上流域南西部を中心とした地域で土石流・山腹崩壊等の土砂災害、平成 16 年 10 月の台風 22 号の暴風雨により狩野川上流域全域で山腹崩壊が多数発生するなど、流域内には未だに不安定土砂が大量に堆積しています。

また、平成 10 年 8 月豪雨、平成 15 年 4 月豪雨などによっても、各地で、死者、負傷者及び住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面の事業の進め方として、狩野川上流域では災害によって堆積した不安定土砂が下流域に流出する恐れがあるため、床固工群の整備を継続実施すると

もに、流域の荒廃状況を考慮したうえで、砂防えん堤の整備に取り組みます。

なお、国有林内では治山事業との連携を図りながら事業を進めます。

また、静岡県では、住宅とあわせて幼稚園や鉄道を保全する「塩木道沢（伊東市）」等の砂防事業、住宅とあわせて老人保健施設を保全する「海峰苑（伊東市）」等の急傾斜地崩壊対策事業の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策については、平成18年3月31日現在、熱海市外2市1町で56箇所の土砂災害警戒区域（内54箇所：土砂災害特別警戒区域）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（３）富士川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

富士川の静岡県区間においては、戦後最大の洪水である昭和 57 年 8 月洪水で浸水被害があった地区の整備が平成 11 年度までに完了し、高潮堤防については平成 10 年度に整備が完了しています。

富士川の扇状地では、下流低平地に交通機関や住宅等の資産が集中していますが、流下能力が低い河川が多く、近年では平成 15 年 7 月、平成 16 年 10 月及び平成 17 年 7 月の豪雨により床上・床下浸水被害が毎年発生しています。

このため、沼川、新中川では、広域基幹河川改修事業で、稲瀬川では総合流域防災事業、富士早川では都市基盤河川改修事業を、合わせて伝法沢川、和田川では、県単河川改良事業を実施し、被害の解消を図るべく整備を推進しています。

富士川では、平成 15 年の洪水で河岸浸食の災害が起きており、また、東海地震による被害が懸念されることから、水防活動及び洪水、高潮や地震等の被災時における堤防等河川管理施設の復旧活動を支援する防災拠点の整備に向け関係市町と調整を図ります。

また、東海地震等の災害時における、緊急的な輸送路となる緊急用河川敷道路の整備を推進していきます。

あわせて、ソフト対策としては潤井川流域の河川監視を行うための光ファイバーや CCTV、水位計の設置を行う情報基盤整備事業や、洪水被害の軽減ができるよう洪水ハザードマップ作成支援などを進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

富士山麓では、大沢崩れを発生源とした土石流や、雪代による土石流等、多様な形態の土砂流出が生じており、昭和 47 年、昭和 54 年には土石流による大きな被害が発生しています。

富士山麓の砂防工事の施工は、大沢崩れ対策および富士山の南西山麓で土砂対策の必要性の高い溪流を国が、それ以外の溪流を県が整備するなど連携し砂防工事を行っています。

当面の事業の進め方として、昭和 47 年の土石流災害をはじめ、近年においても平成 12 年 11 月及び平成 16 年 12 月に土石流が発生している大沢扇状地において、遊砂地整備を重点的に実施します。

また、潤井川の支川及び沼川の支川においても、脆弱な火山地質が広く分布しており、土砂生産が活発であり、砂防えん堤の整備を実施します。

富士山は、新富士火山が形成された約 1 万年以降も噴火活動を繰り返しており、有史以降にも、火山活動が発生しています。

1707 年の宝永噴火以来、現在まで約 300 年間静穏を保っていますが、ひとたび噴火が発生すると甚大な災害が発生すると予測されています。

富士山の火山活動による土砂災害防止のため、富士山火山砂防計画の検討や、富士山の観測システムの整備、関係機関との連携を進めます。

また、急傾斜地崩壊対策事業では、住宅とあわせて県道と医院を保全する「芝川大久保（芝川町）」の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

ソフト対策については、富士山における土石流流下の監視を行うための、光ファイバーや CCTV の設置を行う情報基盤整備を進めており、地域の方々に、早期に発生情報を知らせるよう、富士宮市役所等へ情報提供を行っています。

また、平成 18 年 3 月 31 日現在、富士宮市で 3 箇所の土砂災害警戒区域（うち 1 箇所：土砂災害特別警戒区域）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（４）安倍川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

安倍川では砂利採取規制以後、下流部では河床上昇傾向が続いており、低水路河床高が高水敷の高さに迫るほど上昇し、高水敷や堤防が洗掘されるなどの被害が平成 12 年 9 月洪水、平成 15 年 8 月洪水など頻繁に発生し、堤防の安全性が著しく低下しています。

このような状況を踏まえ、「安倍川治水対策検討委員会」を設置して検討を行い、河道掘削を実施するとともに、左岸 3.25km～8.5km 区間を「緊急対策特定区間」として設定し、堤防強化等の質的整備を実施しています。

安倍川水系については、河川整備基本方針に基づき概ね 150 年に 1 回発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、段階的に整備を推進します。

当面の目標として「安倍川水系河川整備計画」策定をめざすと共に、河床上昇対策として流下能力確保のための河道掘削及び堤防補強等を実施します。

巴川、丸子川などでは下流低平地に住宅等の資産が集中しており、近年では平成 10 年 9 月、平成 15 年 7 月及び平成 16 年 6 月の集中豪雨により床上・床下浸水被害が発生しています。

静岡県においては巴川流域で昭和 49 年の 7 月の七夕豪雨で甚大な被害を受けたことを契機に、総合治水対策事業に着手しました。現在は 1/5 確率規模（時間雨量 58mm）に対応した整備を完了し、1/10 確率規模（時間雨量 69mm）の降雨に対する治水安全度の確保を目指して事業実施中です。

また、洪水時の流出抑制を図るため併せて総合流域防災事業により流域貯留事業を推進し、被害の解消を図っています。

ソフト対策としては巴川流域の河川監視を行うための光ファイバーや CCTV、水位計の設置を行う情報基盤整備事業を進めています。

また、布沢川では小規模生活調整池となる布沢川ダムの整備を進めており、工事用道路工を実施しています。

静岡市においては、浜川、大門川などで平成 15 年 7 月と平成 16 年 6 月に 2 年連続で大きな浸水被害が市内各地に発生したことを契機に「静岡市浸水対策推進プラン」を平成 18 年 2 月に策定し、河川、排水路、雨水幹線整備などの「基幹施設対策」と雨水貯留浸透施設整備などの「雨水流出抑制対策」を推進します。

現時点では、一般の方が雨水貯留浸透施設を整備する場合に費用の一部を支援する制度（新世代下水道支援事業）の補助率を上げ、制度の普及に努めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

安倍川の流域には大谷崩れをはじめ多くの崩壊地が分布しています。このため、大きな洪水の度に多量の土砂が流出し幾度となく大きな被害を出していま

す。

近年では、平成 10 年 4 月の豪雨、平成 15 年 7 月の梅雨前線豪雨及び平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しています。

当面の砂防事業としては、大谷崩れをはじめ山腹崩壊が著しい上流域で土砂生産源対策として大谷崩れ対策を重点的に推進します。

また本川左右岸には多くの土石流危険渓流があり、主要な集落がその危険渓流出口付近に存在していることから、土石流対策をハード・ソフト両面から事業展開をしていきます。

国の地すべり対策事業としては、由比町において、豪雨や地震により地すべりが発生した場合、日本の大動脈である重要交通網（国道 1 号・東名高速道路・JR 東海道本線）に大きな被害が予想されるため、平成 17 年度から直轄地すべり対策事業に着手しています。

当面の事業展開としては、地下水排除工を優先して行います。

静岡県においては、砂防事業では、住宅とあわせて観光地への重要道路を保全する「森谷沢（静岡市）」等、地すべり対策事業では、県内で最大規模の「口坂本（静岡市）」、急傾斜地崩壊対策事業では、平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨により災害が発生したため再度災害を防止する「寺下（由比町）」「西山寺 No. 2（由比町）」、住宅とあわせて県道を保全する「中河内向田（静岡市）」等の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

（５）大井川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

大井川水系については、基準地点神座より下流河道の計画高水流量を 9,500m³/s とする、大井川水系河川整備基本方針を平成 18 年 11 月に策定し、築堤・掘削・護岸・水制等の整備を行うとともに、平成 14 年 3 月に完成した長島ダムによる洪水調節を行っていきます。

当面の目標としては、流下能力が不足している牛尾地区狭窄部において、築堤護岸等の河道整備により治水安全度の段階的向上を図ります。

大井川の扇状地を中心とする志太榛原地区の河川は、下流地域に住宅等の資産が集中しており、近年は平成 10 年 9 月及び平成 16 年 11 月の豪雨により床上・床下浸水による被害が発生しています。このため、瀬戸川、萩間川で広域基幹河川改修事業により被害の解消を図るべく整備を推進しています。

また、地震・高潮対策（耐震）事業として、勝間田川の水門事業に着手しています。

ソフト対策としては瀬戸川流域の河川監視を行うため、全県的に光ファイバーや CCTV、水位計の設置を行う情報基盤整備事業を進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 12 年 6 月の梅雨前線豪雨、平成 15 年 8 月の豪雨及び平成 16 年 10 月の台風 22 号等により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しており、再度の災害発生を防止する災害関連緊急砂防等事業や土砂災害の防止を図る通常砂防関係事業により、砂防関係施設の整備を進めています。

当面、砂防事業では、住宅と市道を保全する「ビワ沢（藤枝市）」、地すべり対策事業では、昨年 7 月の梅雨前線豪雨により地すべり活動が活発化した「滝沢（藤枝市）」、急傾斜地崩壊対策事業では、平成 16 年 10 月の台風 22 号による災害が発生したため再度災害を防止する「勝俣新戸（牧之原市）」、緑の斜面对策工法を採用している「岡出山（藤枝市）」等の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

また、ソフト対策については、圏域内各市町において土砂災害警戒区域等の指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（６）菊川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

菊川については、昭和 8 年の直轄改修着手以来、低平地を蛇行して流れる河川を直線化する（平成 17 年度完成の下小笠川捷水路事業をはじめとする）捷水路工事や築堤等を実施するとともに、内水対策として黒沢川、江川、与惣川に排水機場を整備してきました。

しかし、近年においても平成 10 年 9 月洪水・平成 16 年 10 月洪水など浸水被害を受けており、治水の安全度は依然として低い状態です。

当面の進め方として、平成 10 年 9 月洪水相当の流量に対応するため、河道の掘削等による河道整備により、流下能力の段階的向上を図るとともに、内水被害及び耐震・津波に対する評価を行い、必要な対策を実施します。

また、西方川では総合流域防災事業により、被害の解消を図るべく整備を推進します。

ソフト対策としては、ハザードマップの整備などを推進しています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 10 年 9 月の豪雨等により住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しており、再度の災害発生を防止する災害関連緊急砂防等事業や土砂災害の防止を図る通常砂防関係事業により、砂防関係施設の整備を進めています。

当面は、急傾斜地崩壊対策事業で、住宅とあわせ県道を保全する「神明前（菊川市）」等の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

また、ソフト対策については、圏域内各市町において土砂災害警戒区域等の指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。

（７）天竜川圏域

１）水害対策の現状の課題と当面の進め方

天竜川については、基準地点鹿島より下流河道の計画高水流量を 14,000m³/S とする工事实施基本計画を昭和 48 年に策定し、これまで河道掘削や築堤護岸等の整備を行ってきましたが、未だ計画高水流量を安全に流下させる河道とはなっていません。

また、計画洪水流量 14,000m³/S は、上流ダム群で 5,000m³/S を調節することとしています。現状では新豊根ダムが完成しているだけで、今後、天竜川ダム再編事業（現在、実施計画調査中）による洪水調節施設の整備が必要です。

国管理区間の当面の整備の進め方として、戦後最大級の洪水相当の流量に対応するため、河道の掘削、樹木伐採等による河道整備により流下能力の段階的向上を図るとともに、土砂移動に関する調査・検討を行い、必要な対策を実施します。

県管理河川の当面の進め方として、住宅等の資産が集中する下流低平地において、太田川、安間川、馬込川、都田川で河川改修事業を実施し、平成 10 年 9 月及び平成 16 年 11 月の豪雨により発生している床上・床下浸水被害の解消を図るべく整備を推進しています。

上流域では河川総合開発事業として太田川ダム本体のコンクリート打設に平成 17 年度末から着手しています。

ソフト対策としては都田川、馬込川、太田川流域を対象に河川監視を全県的に行うための光ファイバーや CCTV、水位計の設置を行う情報基盤整備事業を進めています。

２）土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方

近年では、平成 10 年 9 月の豪雨、平成 10 年 10 月の台風 10 号及び平成 17 年 7 月の梅雨前線豪雨等により死者、住宅等に被害をもたらす土砂災害が発生しており、再度の災害発生を防止する災害関連緊急砂防等事業や土砂災害の防止を図る通常砂防関係事業により、砂防関係施設の整備を進めております。

当面、砂防事業では、住宅と重要な生活道路を保全する「竜戸南沢（浜松市）」、「黒俣沢奥沢（掛川市）」、地すべり対策事業では、住宅とあわせて災害時要援護者施設と緊急輸送路を保全する「向島（浜松市）」、「滝之谷川（掛川市）」、急傾斜地崩壊対策事業では、住宅とあわせて県道を保全する「上平田（浜松市）」、「東雲名島（浜松市）」等の施設整備を効率的に進め、事業効果の早期発現を図ります。

また、ソフト対策については、平成 18 年 3 月 31 日現在、浜松市外 1 市で 86 箇所の土砂災害警戒区域（うち 82 箇所：土砂災害特別警戒区域）を指定しており、今後も区域指定を進め、市町による住民の警戒避難体制の整備を促進します。